



2023年5月期（31期）

# 第1四半期 決算説明会

2022年 10月12日

株式会社インターアクション

証券コード：7725

※本決算説明会の内容につきまして、ご参加される方による  
録音、録画はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

# Agenda

---

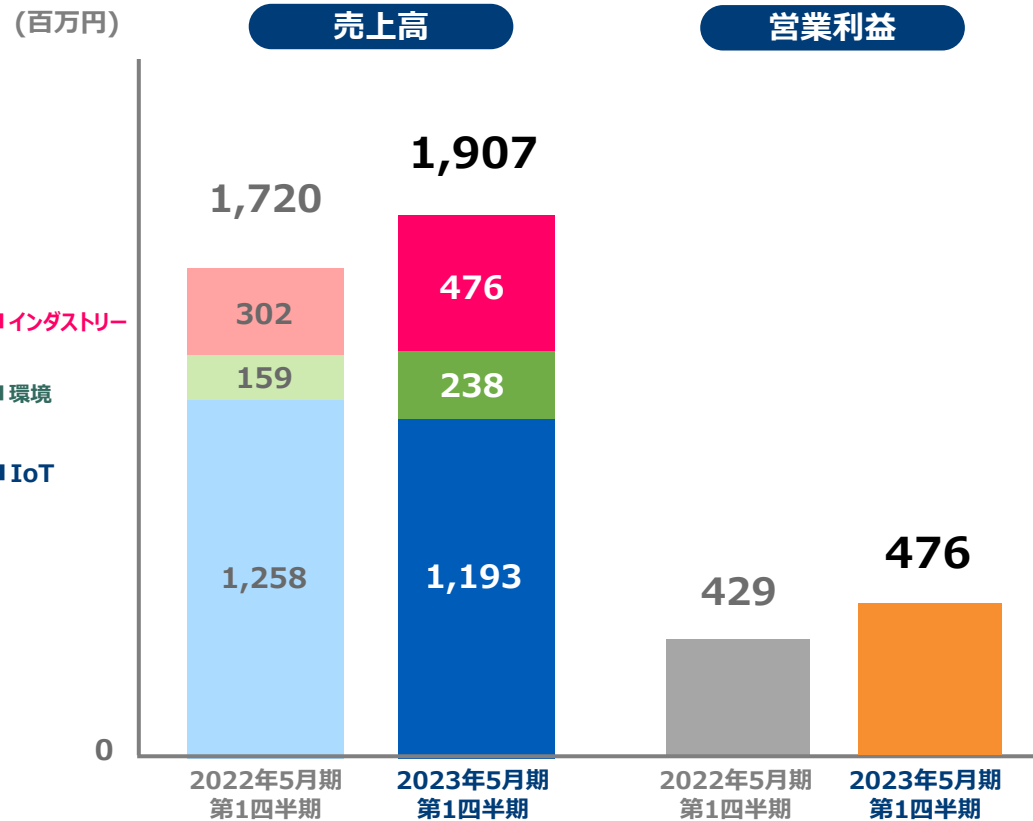
- ① 業績サマリー
- ② セグメント別 Topic
- ③ 事業活動におけるリスク
- ④ 今後の施策

-Appendix-

# 業績サマリー

## POINT

- 主にIoT関連事業セグメントの増益及びインダストリー4.0推進事業セグメントの増収増益に伴い、連結業績も前年同期比で増収増益となった。
- IoT関連事業セグメント：収益性の高い海外顧客向け光源装置の販売が好調に推移したため増益。
- 環境エネルギー事業セグメント：装置本体の販売が堅調に推移し増収。
- インダストリー4.0推進事業セグメント：主に東京テクニカルを中心として好調に推移。

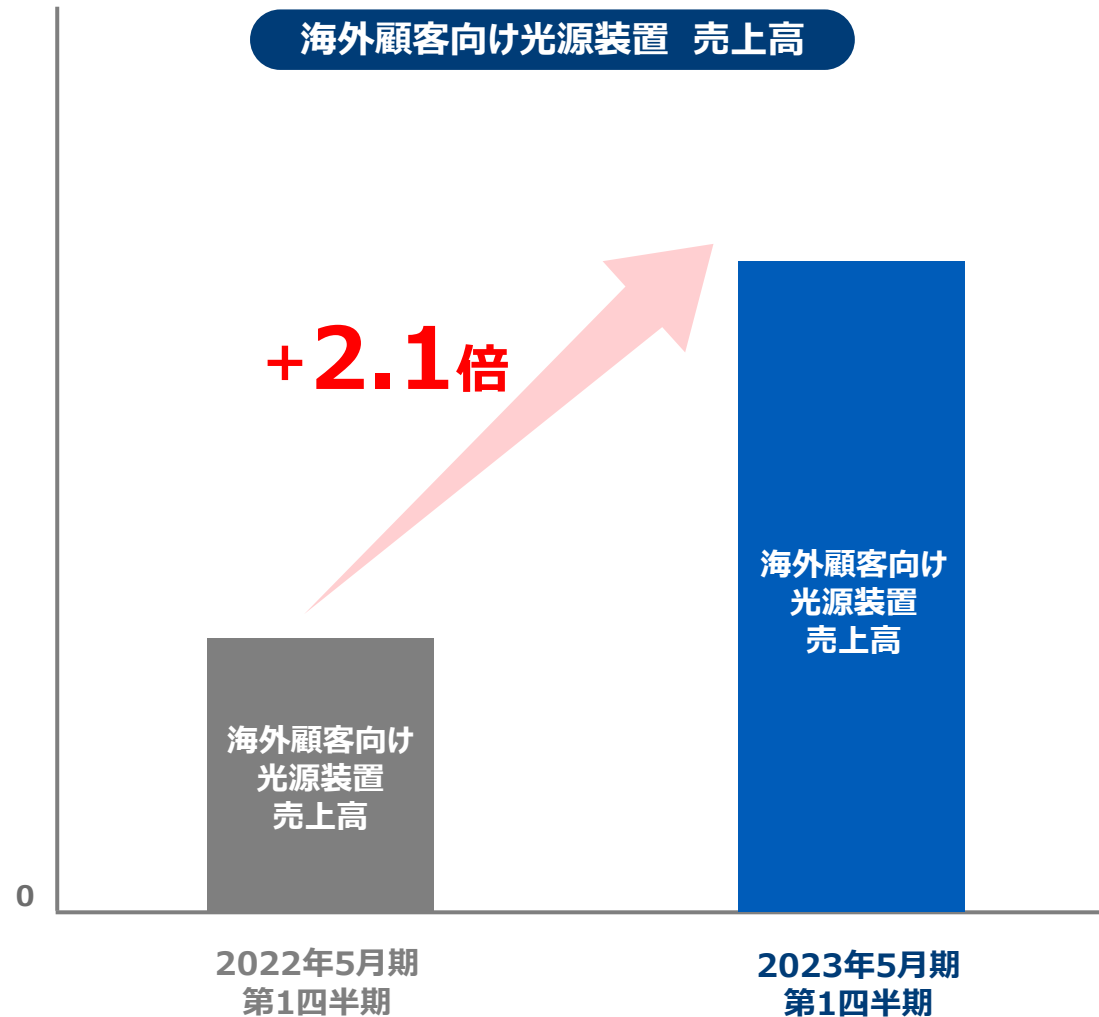


## 主要な経営指標の推移

(百万円)	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比増減率 (%)
売上高	1,720	<b>1,907</b>	10.9
営業利益	429	<b>476</b>	10.8
経常利益	434	<b>519</b>	19.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	<b>351</b>	22.6
1株当たり四半期純利益	26.17円	<b>32.38円</b>	-

# セグメント別 Topic

(百万円)



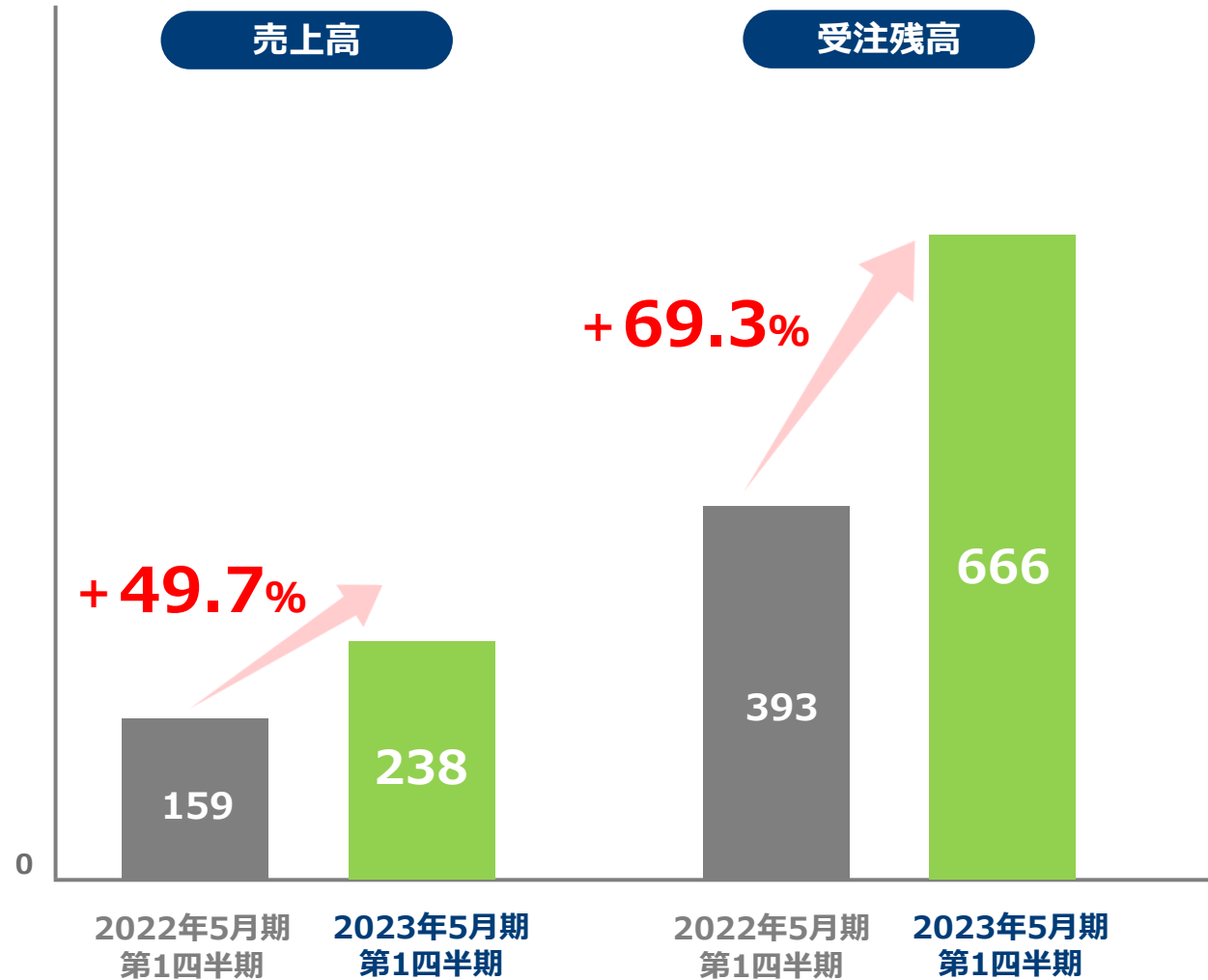
海外顧客向け光源装置の売上高  
前年同期比で

**+2.1倍** ↑

それに伴い、  
IoT関連事業セグメントは  
前年同期比で

**増益 (+1.6%)**

(百万円)

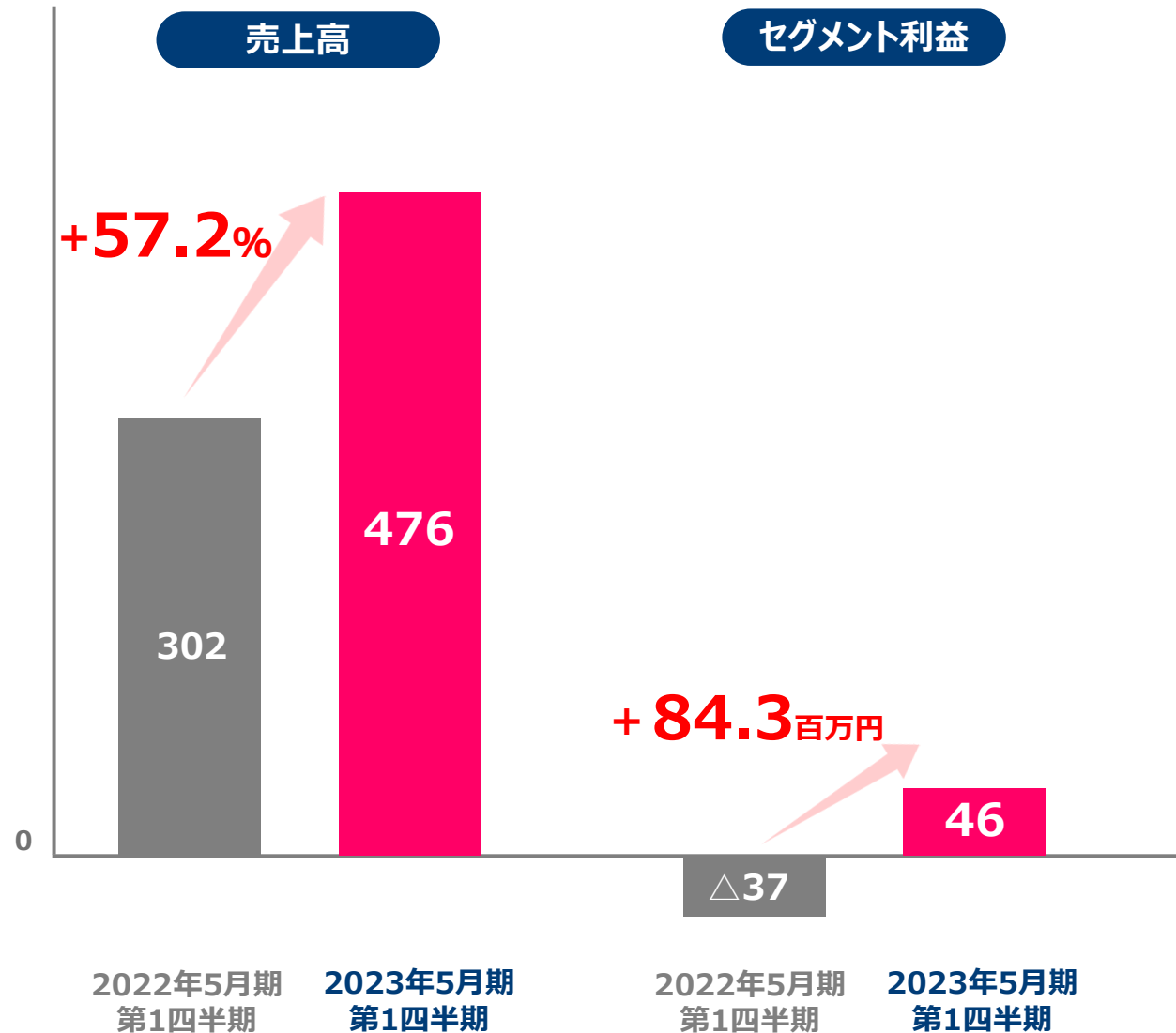


前年同期比で

売上高 +49.7%↑

受注残高 +69.3%↑

(百万円)



前年同期比で

売上高 +57.2% ↑

セグメント利益 +84.3百万円 ↑



# 事業活動におけるリスク

## 社会情勢によるリスク

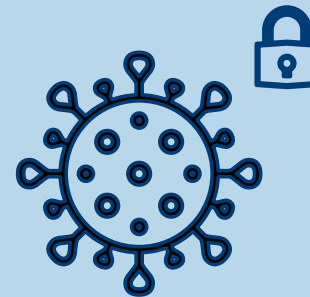
POINT  
01



米国金利の上昇

米国金利の上昇による  
景気への影響等

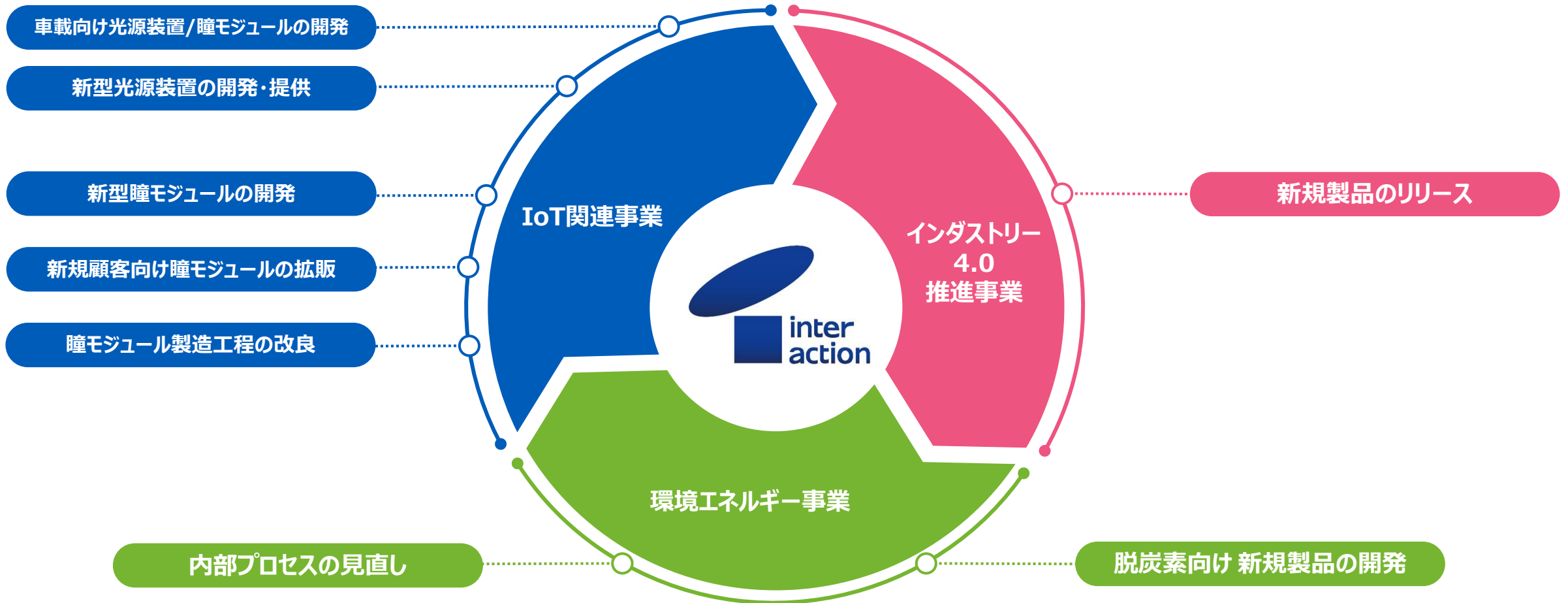
POINT  
02



中国 ロックダウン

中国でのロックダウン等による  
スマートフォン需要の停滞等

# 今後の施策



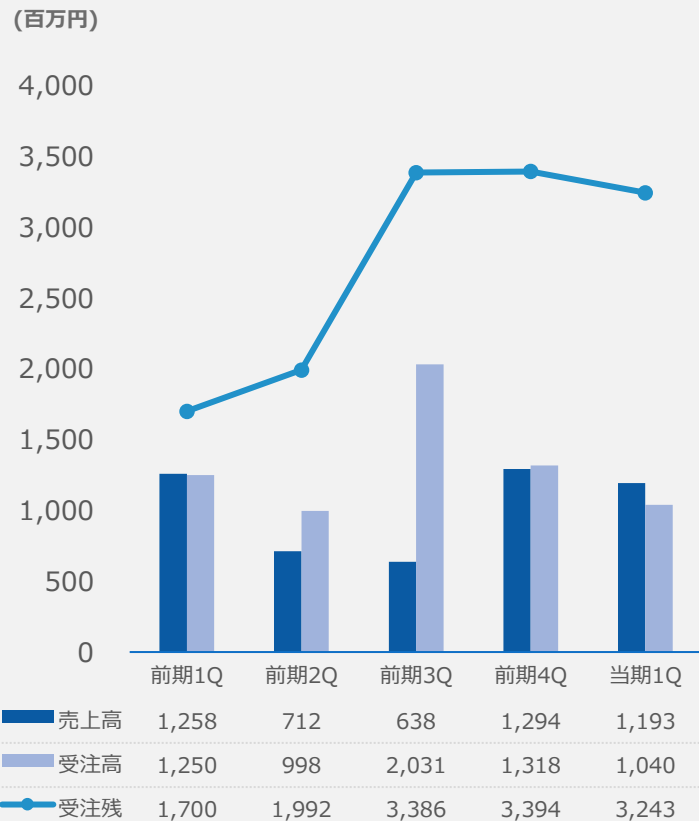
# Appendix ①

## セグメント別 サマリー

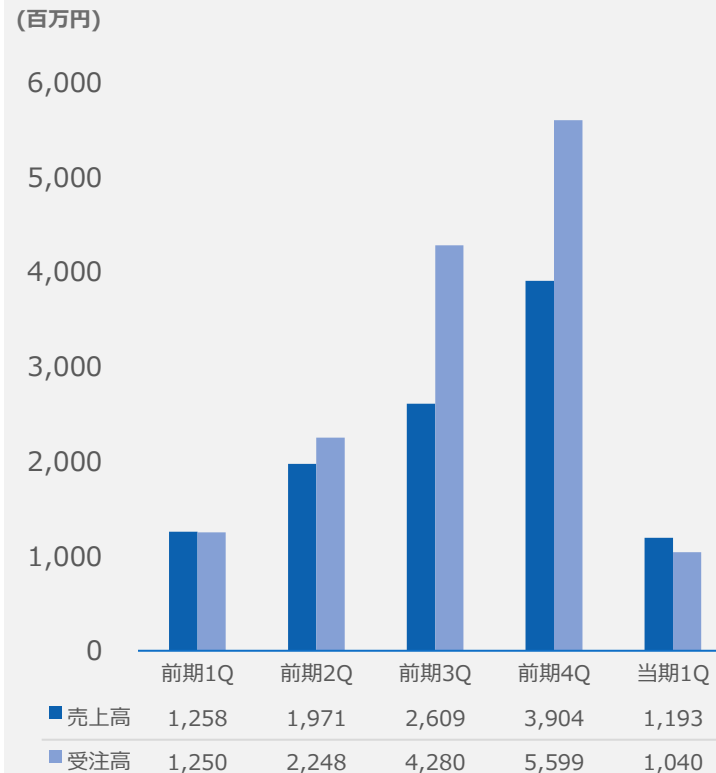
## POINT

- 海外顧客向け光源装置の販売が前期を大幅に上回ったため、セグメント全体としては減収増益となった。
- 海外顧客向け光源装置の売上高増加については、顧客側において設備投資タイミングの前倒しが発生していること等が要因であると認識。
- 新規顧客向け瞳モジュールの受注獲得。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (+) 中長期的にはイメージセンサの市場は拡大すると推測。



#### (2) 社会情勢

- (-) 新型コロナウイルス感染症  
 ・中国のロックダウン等の影響によって、一部地域においてスマートフォンの需要が停滞。
- (-) 為替変動、米国金利政策などによる景気影響  
 ・イメージセンサに関わらず、半導体全般において最終アプリケーションの需要が停滞傾向。



#### (3) 顧客動向

- (-) 国内顧客向け瞳モジュール 需要一時停滞  
 (+) 海外顧客向け光源装置 設備投資前倒し



### 内部環境の主な変化

#### (1) 研究開発

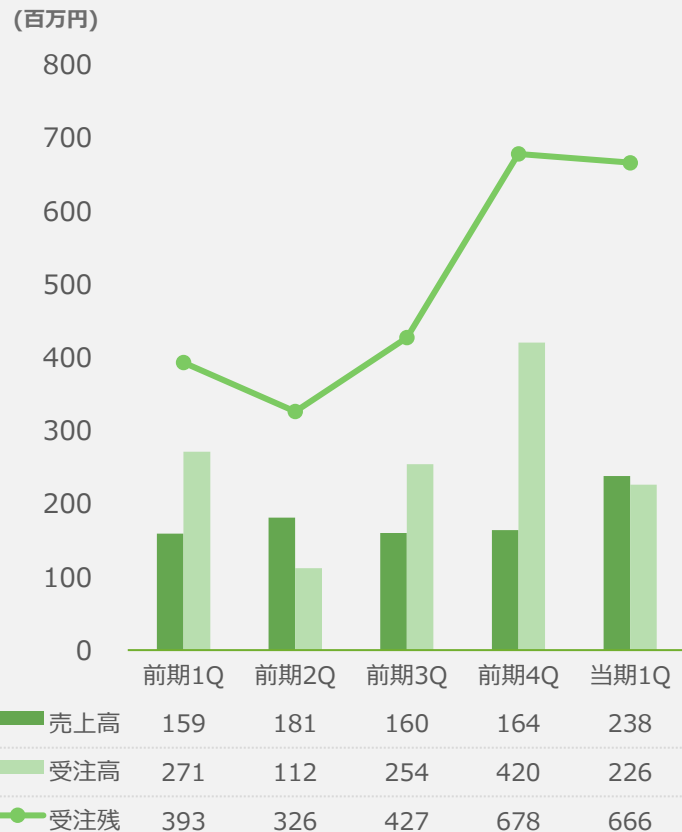
- (+) 新規顧客向け瞳モジュール  
 ・前期において量産品導入が決定。  
 当期中に売上計上される見込み。



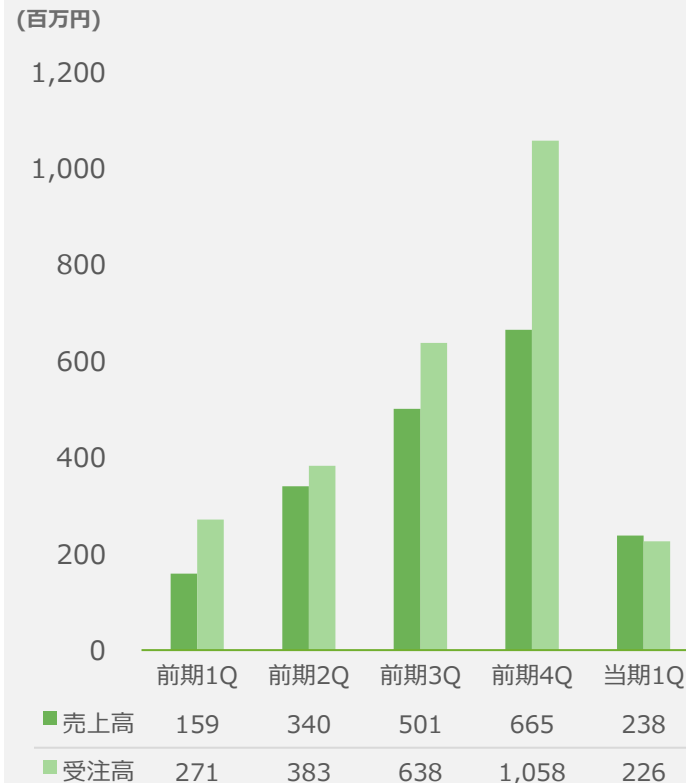
## POINT

- 乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置本体の販売が堅調に推移したため、前年同期比で増収となった。
- 一方で、部材不足等の影響により、引き続き収益性の高いメンテナンス案件の対応が多数遅延。売上も低調に推移したため、前年同期比で減益となった。
- 事業成長への取り組みとして、内部プロセスの見直しや脱炭素に向けた新製品の開発を検討中。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (+) 広告需要の回復  
・引き続き乾燥脱臭装置の引き合いが増加傾向



#### (2) 社会情勢

- (-) 世界的な部材不足  
・引き続き本体装置、メンテナンスともに納期が後ろ倒し傾向。メンテナンスに使用する部品も調達が遅れており、顧客への積極的な営業が難しい状況。



#### (3) 顧客動向

- (+) 本体装置の発注増加  
・前期から引き続き、顧客側においてアフターコロナを見据えた設備投資が徐々に再開



### 内部環境の主な変化

#### (1) 内部プロセスの見直し

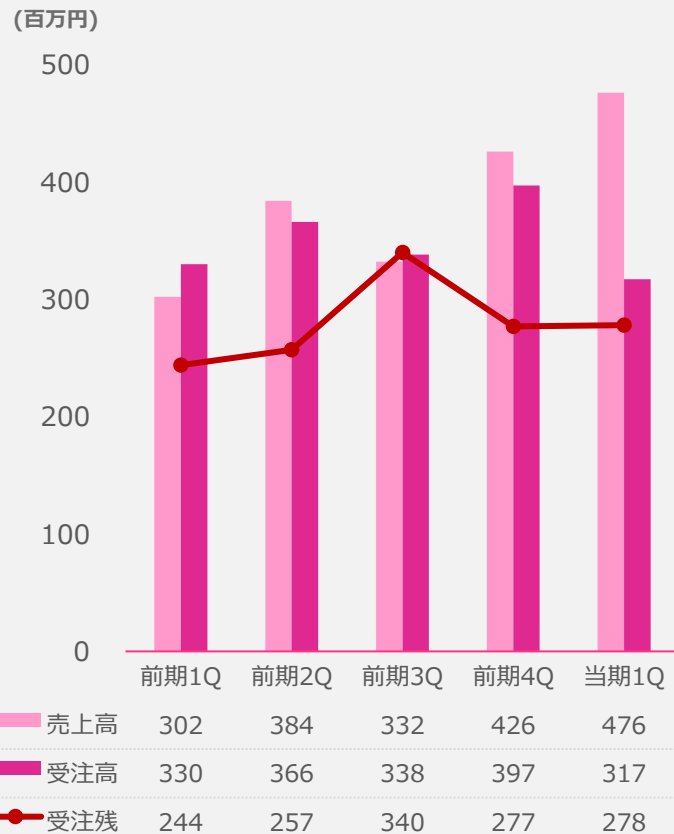
- (+) 既存事業における補填や、新規製品開発に向けて、人員等リソースの見直しを実施。



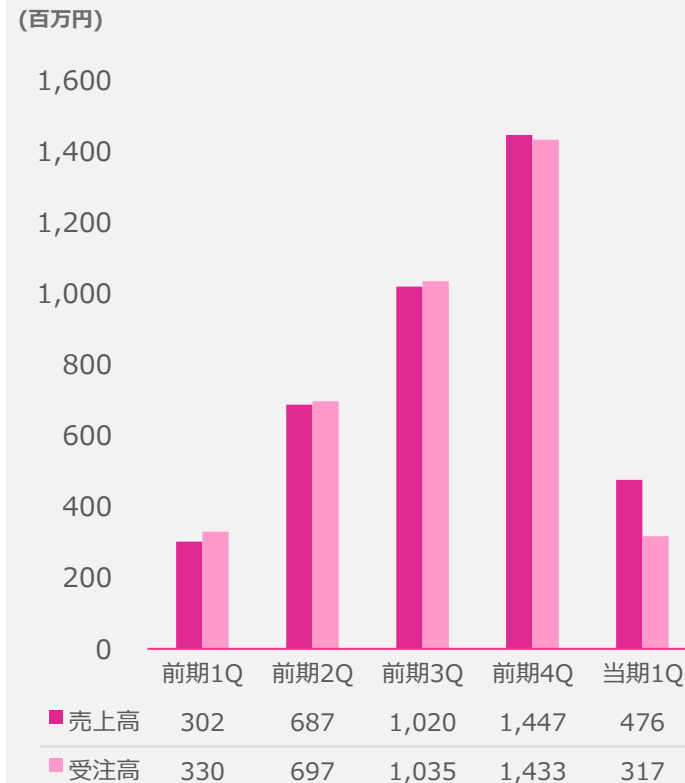
## POINT

- セグメント全体として前年同期比で増収増益。
- 精密除振装置：国内顧客及び海外顧客向けの製品共に販売が堅調に推移したため、前年同期比で増収増益。
- 歯車試験機：引き続き工作機械業界の市況が好調に推移。それに伴い、製品の販売も好調に推移したため、前年同期比で増収増益。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (+) 工作機械業界の市況  
 ・中国等の新興国において工作機械の需要が引き続き高い状態で推移。  
 歯車製造業界へも波及。



#### (2) 社会情勢

- (-) サプライチェーンの混乱  
 ・ロシア・ウクライナ情勢や中国のロックダウン等の影響によって、部材の入荷遅延や価格上昇が引き続き発生。



#### (3) 顧客動向

- (+) 海外顧客向け 精密除振装置  
 ・海外現地法人の営業体制の改善に伴い、製品の引き合いが復調傾向。



### 内部環境の主な変化

#### (1) 新規製品の開発

- (+) 多様な検査に対応可能な新規の歯車試験機である、「粗さ測定器」をリリース。拡販活動中。
- (+) 振動をモニタリングするアプリや、振動を生成し、実環境を再現する「加振機」の開発推進。





# Appendix ②

## 会社概要

商号	株式会社インターアクション INTER ACTION Corporation
設立	1992年6月25日
代表者	代表取締役社長 木地 伸雄
資本金	1,760百万円
従業員	126名（2022年5月末時点 グループ全体）
本社所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1-1 横浜金沢ハイテクセンター14階 TEL:045-788-8373 FAX:045-788-8371
事業所	横浜市中区・熊本県合志市

上場市場	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	7725
事業年度	自 6月1日 至 5月31日
URL	<a href="https://www.inter-action.co.jp">https://www.inter-action.co.jp</a>
グループ会社	株式会社エア・ガシズ・テクノス 明立精機株式会社 株式会社東京テクニカル 西安朝陽光伏科技有限公司 陝西明立精密设备有限公司 MEIRITZ KOREA CO.,LTD Taiwan Tokyo Technical Instruments Corp. TOKYO TECHNICAL INSTRUMENTS (SHANGHAI) CO.,LTD 株式会社ラステック

重要指標

Equity Spread  
ROE

配当方針

総還元性向30%

M&A方針

成長分野・今後成長を見込める分野であること  
培ってきた技術や事業のノウハウが、事業展開に活用できる分野であること  
5年間の想定キャッシュ・フローをWACCで割り引いたNPVがプラスになること

## メール配信サービス

---

インターアクショングループに関する様々な情報をメールでお届けします

当社HP「メール配信サービス」画面

[https://www.inter-action.co.jp/ir/ir\\_mail/](https://www.inter-action.co.jp/ir/ir_mail/)

もしくは下記QRコードよりご登録下さい

ご登録いただきました情報は、IRメール配信サービスのみを使用します。

個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページに記載しております

「個人情報保護方針」をご参照下さい

<https://www.inter-action.co.jp/privacy/>

## お問い合わせ

---

株式会社インターアクション

経営企画室 経営企画グループ IR担当

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10階

TEL : 045-263-9220

<https://www.inter-action.co.jp/inquiry/>

HPお問い合わせ画面よりお問い合わせ下さい



## 注意事項

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれております。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向等の影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知置き下さい。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。